



岡山県偕行会 令和5年度定時総会

広報担当理事 綱島 俊昭 陸自81
岡山県偕行会は、去る7月2日（日）
午前11時50分から、岡山地方協力本部会
議室において定期総会を開催した。

1 定時総会

参加者は、従前会員2名（付き添いの親族を含む）、元自衛官11名で、午前11時50分、山本事務局長の開会の辞に続き国旗に敬礼、続いて国歌斉唱、続いて戦没者、殉職自衛官、令和4年度逝去された2名の会員の方々に黙祷を捧げた後、陸自75期角南会長が開会の挨拶を行い、議事に入った。

議案は、令和4年度事業実績報告、同収支決算報告、監査結果報告が承認された後令和5年度事業計画並びに予算計画について審議し、滞りなく承認された。

特に、令和4年度事業実績報告では、事業推進施策として「忠魂碑等の現況調査の継続」を図り、新規に勝田郡奈義町に

において、新たに1カ所の忠魂碑を発見するとともに、「吉備の国巡礼ウォーク」に参加し、4回、約20カ所の忠魂碑等の現況把握に努めた。

また、ホームページを通じて、8月には県下大学生の卒業論文の作成に資するため偕行社等について情報提供を行うとともに、9月には読売新聞社記者の要請により、岡山県出身の旧軍戦闘機「飛燕」の撃墜王 垂井大尉の情報収集に協力した。

令和5年度事業計画では、方針として「世代交代による内部態勢の充実を図りつつ、偕行社設立の根本精神「英霊に敬意を」「日本に誇りを」を継承し、「郷土に愛を」に思いを致して、戦没者の慰霊顕彰及び陸上自衛隊への支援を主体に事業を推進」し、「近現代史・思想の調査及び研究に着手する。」事を重点に事業を推進していくこととして全員の賛同を得た。

2 講演会並びに懇親会

その後、12時30分から1時間、広島からお出で頂いた第13旅団長松永陸将補の講話「陸上自衛隊の活動」を拝聴した。

特に、6月実施された「G7サミット」における警戒任務等、興味深い講話を聞くことが出来て有意義であった。

続いて、14時から場所を移して懇親会を実施したが、今回特筆すべきは、我々の大先輩、旧軍出身の御年98歳の鳴海先輩がお越しになったことである。

ご高齢のため、足元はやや衰えておられるものの、矍鑠とされており、自己紹介でも軍歌を披露されるなど、懇親会を楽しんで頂けたと感じた次第である。

懇親会には、来賓として第13旅団長松永陸将補、岡山地方協力本部長谷坂一等陸佐、日本原駐屯地司令西田一等陸佐、三軒屋駐屯地司令石嶋二等陸佐、吉備の国巡礼ウォーク実行委員長の三宅雅氏をお迎えして、総勢20名で和やかに始まった。

その後、参加者全員の自己紹介、近況報告等が行われ、相互に現況を報告し合った。

楽しく有意義な時間は、瞬く間に経過し散会の時間となったが、先述した旧軍出身の鳴海先輩が来年は白寿とされることから、来年の総会にも、是非、お元気でご参加頂けるようお願いし、他の参

加者にも次回の再会を約して散会となった。



来賓及び参加者と記念撮影